

# 令和3年度から、小学3年まで35人学級に

教育長 「密を避け、児童・生徒一人一人に目が行き届きやすく個別の適切な学びにつながると確信している」

## 文科省は、来年度から5年かけて小学校を35人学級に

### ▼ 通常学級、交流学級に5人超えるクラス数

＜通常学級＞			＜交流学級＞		
	総数	35人以上	総数	36～40人	40人以上
小学校	145	10 7%	133	26	2
中学校	58	35 60%	51	33	7

### ▼ 特別支援学級 児童生徒数 この3年で、在籍数は1.3倍に

	H30	R1	R2
小学校	329	380	426
中学校	80	115	118
計	409	495	544

### ▼ 通級指導教室数 (小学校は6教室、中学校は0)

ことばの教室	鳥栖北小1、若葉小1
まなびの教室	鳥栖小2、弥生が丘小1、若葉小1



尼寺議員 文科省が来年度から小学校を5年間で35人学級にすることに、どう評価するのか。また課題はなにか。

教育長 35人学級は密を避け、児童一人一人に目が行き届きやすく、これから目指す個別の適切な学びにつながるものと確信している。

令和3年度から小学2年生が35人学級になることから、3年生に対しても県独自の制度を活用し、35人学級になる予定です。教員の確保、教室の確保が課題ですが、計画的に取り組みたい。

「これに対して、尼寺議員は「今後中学校も含めて早期に35人以下に、すそれを踏まえた計画が必要になってくる」と指摘した。

通級教室の増設を  
尼寺議員 通級教室がないこと、少ないことが、特別支援学級が増加している背景の一つになっているとも聞く。新設・増設すべきでは。

教育長 本市では、小学校4校に6教室設置して、通級指導教室の増設については、県に対して毎年要望しており、特に中学校の新設については、今年度も強く要望してきました。

通級指導教室の設置により特別支援学級在籍の児童生徒も減り、個に応じた指導がさらに進むものと考えており、通級指導教室の充実に取り組んでいきたい。

## 就学援助

## コロナ禍で家計が急変した場合 支給対象の拡大を

成富議員は、就学援助について、「家計窮迫の場合、前年の所得ではなく、本年度の所得で対応する。」との「文科省の特例」の、市のHPへの掲載と、PTA会費、クラブ活動費などを支給対象に加えるよう求めた。

成富議員 文科省の事務連絡に従って、その周知を図ってきたのか。

教育部長 周知はしていない。

成富議員 周知を徹底すべきでは。

教育部長 新学期のなるべく早い時期に行いたい。

成富議員はホームページへの「特例」の掲載を求めた。

文科省は、全国の教育委員会に、コロナ禍での「家計急変の特例」について周知を求めている。「家計急変の世帯」つまり申請時には前年の所得が基準オーバーしていたので申請しなかった世帯でも、今年の収入が前年に比べ大きく落ち込んでいる場合は対象になる。だから申請をというもの。

成富議員 国が、PTA会費などを支給項目に追加してから、すでに10年がたっている。鳥栖市でも支給対象に加えるべきと思うがどうか。また実施した場合、費用はどれくらいか。

教育部長 援助項目の追加等については現時点では難しい。今後、前向きに検討していきたい。400万円ほどかかる。

文科省は、平成22年度から従来の学用品費や給食費などに加え、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3項目を支給対象として追加するよう、全国に通知している。それから、すでに10年も経つのに、市は県内で支給対象としている市町がないことを理由に、対象に加えることを拒み続けている。

PTA会費も生徒会費もすべての子どもにかかわる経費です。クラブ活動は教育の一環です。お金がなくて、子どもたちが肩身の狭い思いをしたり、クラブ活動をあきらめるなどあってはなりません。速やかに支給対象の拡大を。

## 鳥栖駅東口設置を

### 橋本市長 鳥栖駅東口だけの事業化は大変難しい

尼寺議員 市長は、鳥栖駅東口の設置について、市長公約に掲げていたにも関わらず、まちづくりの効果はないとして検討すらしてこなかった。しかし東口ができれば、駅前だけでなく、駅へ向かう高橋などの朝夕の交通渋滞、サッカー観戦時の虹の橋の館雑の解消など可能になり、まちづくりの効果は極めて大きいのではないかと考えている。

橋本市長 限定的ではないかと考えている。駅周辺整備は、駅部・東西駅前広場・駅前交差点について、一体的に検討する必要がある。

尼寺議員 東口設置は、とりわけ駅東の住民にとっては長年の悲願であった。こうした住民の思いを市長は切り捨てるのか。

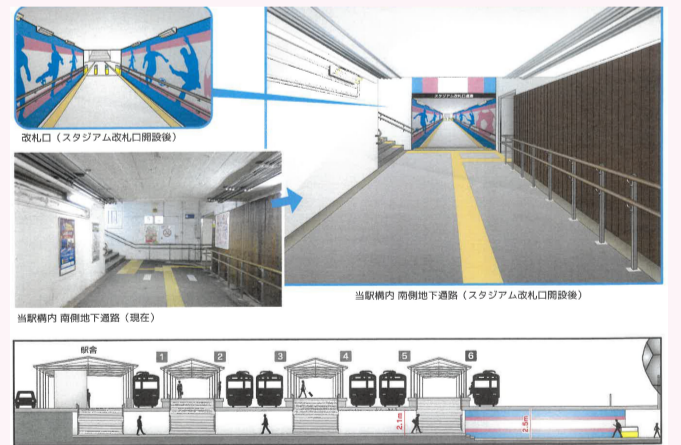
橋本市長 東口だけの事業化は大変難しい

尼寺議員 任期をあと2年残す段階でも、なんの考えを示す事ができないという事は事実上、東口設置はしないという事ではないか。一体いつになったら、駅周辺事業は再開するのか

橋本市長 実現の時期はいえない。財政上の理由で断念したので、実現可能な方策の検討が必要だと考えている。

尼寺議員は何度もこの質問をしてきた。市長の答弁は決まって「駅東口の設置はまちづくりの効果が限定的だからしない」であった。

しかしそれで市民は、とりわけ駅東の住民の理解はえられるだろうか。



＜東口設置の地下道想像図＞

## ワクチンは、21,060回分供給予定

5月17日の週末までに

### ▼ 新型コロナウイルスワクチン接種状況

- ・ R3-4/5 ワクチン接種券発送 65歳以上 約18500人
- ・ R3-4/20 現在 各医療機関（40機関）への 予約数8939人
- ・ R3-4/19 から高齢者対象の摂取開始
- ・ R3-4/24現在 接種済み 1019人

### ▼ ワクチン供給予定

- ・ R3-4/26～5/9の週 (2箱×1170回=2340回分)
- ・ R3-5/10～5/17の週 16箱×1170回=18720回分

\*なお市は、HP上で、接種時期について、「4月入荷は1000回分と少量ですが、5/17日の週末から増えていきます。

予約された方には医療機関から連絡があるので、それまで待ってください。必ず希望者分は確保されます。まだ予約されていない方は十分供給されるまで待っていただいてもかまいません。」。(5月末～6月頃)と。